

編輯室にて

天文雑誌に一つの新生面を拓かうさいふ思ひ付きから、此の「星」が生れたのであるが、目標は「眼に見る雑誌」さいふにある——未だ此の理想に遠いこゝを遺憾に思ふこゝ多々であるけれど、おひおひ改良したい希望である。讀者諸賢からの御親切な御忠言が頂きたい。



花山より北の山々を見る

之れは言ふまでもなく「天界」の弟**ぶん**であると同時に、將來は天界の補助者として働きたい。しかし又、一つの希望は、一年ぐらゐやつて見て、よければ之れを全く獨立の雑誌に仕立てたいこゝである。何と言つても、「星は観るものである」こゝを思つて。

目次	星の誕生(1)	木星を迎えて(2)	キルソソ	山の詩(8)
	スマトラみやげ(16)	本年1月の天象(21)	編輯室にて(24)	

Contents: The Birth of The Stars (1); Welcome the Jupiter (2); Poem of the Mount Wilson (8); Souvenir from Sumatra (16); Heavens of January, 1930. (21); Notes (24).

星 第1號

昭和四年十二月二十四日印刷
昭和四年十二月二十五日發行

天界 附録 定價 金參拾錢

編輯兼發行者

京都帝國大學内 天文同好會

(代表者 山本一清)

印刷所

京都市西洞院七條南入

内外出版印刷株式會社

印刷者

京都市北小路通新町西入

須磨勘兵衛